

評価基準書

区分	評価項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
業務体制	業務の実施体制	・業務遂行のために必要な組織体制（人員配置、役割分担）が明確で適正か。 ・業務執行体制、情報管理体制、品質管理体制等は適切か。 ・市と連絡・調整が速やかに行える体制か。 ・事業スケジュールに対するフォローアップ体制は万全か。	10 <4>
	業務責任者及び従事者の実績	・業務責任者は同種業務（※）において十分な実績があるか。また、業務遂行のためのノウハウを有しているか。 ・従事者は業務遂行のために必要な人員が配置され、十分な業務実績を有しているか。 ※同種業務 ・10,000 ㎡以上の公有地若しくは公益性の高い土地における都市開発事業に係る民間活力導入可能性調査業務 ・10,000 ㎡以上の公有地若しくは公益性の高い土地における公募アドバイザリー業務	
業務実績	会社の業務実績	・同種業務において十分な実績があるか。また、業務遂行のためのノウハウを有しているか。	10 <4>
提案内容	業務に関する基本的な考え方	・関係する計画等を踏まえた提案となっているか。 ・業務の遂行にあたり、松山市の現状や課題を的確に把握した提案となっているか。	120 <48>
	知識・専門性及び情報処理能力	・高度な専門知識を有し、課題・データ等の効果的な分析及びそれらの業務への反映が期待できるか。 ・実績や経験を活かした提案となっているか。 ・提案内容は正確かつ簡潔で明瞭にまとめられているか。	
	業務実施工程の考え方	・契約条件の検討に至るまでの間の現状整理、サウンディング調査、事業スキーム・収支計画の検討等の工程が実施可能なものであるか。 ・議決時期など庁内での検討・意思決定期間も十分に考慮した工程となっているか。	
価格	委託料の総額（消費税及び地方消費税を含む。）	$(1 - \text{提案額} / \text{提案限度価格}) \times 60 \text{ 点}$ 【小数点以下切り捨て】	60
合計			200